# \*\* 認知症になっても自分らしく

2040年には、65歳以上の高齢者のうち、およそ3人に1人が認知症または その前段階の軽度認知障害(MCI)になると予想されています(厚生労働省研究班推計)。 決して他人事ではない認知症。本市では、認知症の当事者はもちろん、 認知症の人を支える家族をも地域で支えるまちづくりをめざし、様々な事業に取り組んでいます。 問合 福祉政策課地域福祉推進担当☎ 072 - 423 - 9467 № 072 - 423 - 8686

ます。ぜひご活用ください。

受けられるかを示したものです。 延状や接し方、 症状の進行に合わせ、 どのような医療・介護サービスを

考え方から「認知症の人も含めた誰もが尊 て生きる」という共生社会の実現をめざし とつながりながら自分らしく希望を持っ するための認知症基本法」が施行されまし これまでの認知症の人を支えるという 和6年1月、「共生社会の実現を推進 認知症になったら何もできなく

える家族のつどい」で講師を務めた久米 状なのかどうかは誰にもわかりません。 いと感じてしまう病気かもしれません。 起こる「物忘れ」。それが認知症の初期症 **ふれは始まっているそうです。** 認知症は誰にでも起こり得る病気です。 先日開催した「認知症の人を支 誰にでも

# Interview

認知症になっても大丈夫! 工夫をしながら 今までと同じ生活を続けることが大切です

3月30日に開催した岸和田市認知症ケア (KDC) 報告会で、若年性認知症をテー マとした映画「オレンジ・ランプ」のモデルとなった若年性認知症当事者の丹野智文 さんをお招きし、当事者目線・家族目線の「認知症」について講演していただきました。



②39歳で「若年性アルツハイマー型認知症」と診 断された時の気持ちは?

A 当時はいい情報が何もなくて、インターネットを 見れば「10年で亡くなる」「2年で寝たきりになる」 そんな情報ばかり。その時は、それを信じ込んで「認 知症=終わり」だと思っていました。

- Q その気持ちが変わったきっかけは?
- 🔼 診断されて 1 年ほど経った時に、認知症当事者との出会いがあった んです。笑顔で元気で優しくて…その人は診断されて6年経っていたん です。「あれ、情報は間違っているんじゃないか。この人のように生き てみたい」と思ったことが、私が前向きになれたきっかけでした。

# 〇日常生活で困らないためにしている工夫は?

- ⚠携帯電話をフル活用しています。起きる時間、出掛ける時間、バスに 乗る時間、講演の時間…全部アラームを使っています。ホテルでは必ず 入り口の写真を撮って、部屋番号を忘れても大丈夫なようにしています。 道に迷ったときはテレビ電話を使います。
- 〇周囲のサポートでありがたいことは?
- △普通に接してくれることが一番ありがたいことで、何か困ったら「助 けて」と言える関係性の人がたくさんいれば困らないんですよね。認知 症と診断されても、実は次の日から何も変わりません。何が変わるのか というと、周りの人が変わるんです。認知症と診断されても、今までと 同じ生活を続けることが大切です。周りの人は心配し過ぎて、本人の「失 敗する権利」を奪わないで欲しいと思います。



1974年生まれ。自動車販売会社でトップセールスマンとして活躍中の2013年に若年性アルツハイマー型認知症と診断を受 ける。現在は認知症への社会的理解を広める活動を行っている。2015年、認知症当事者の相談窓口「おれんじドア」を開設。



インタビュー

岸和田市のサポート体制 ~認知症になっても安心して暮らせる地域をめざして~

# 認知症の人を支える家族のつどい



認知症の人や支えている人たちがお 互いに語り合い、思いを分かち合う 場です。講演会なども開催します。



認知症の人とその家族、地域住民 が気軽に集える場として、認知症 カフェの委託事業を行っています。

### 認知症サポーター養成講座



受講者には、認知症サポーターの証 としてオレンジリングをお渡しし ます。

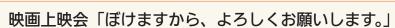


認知症ケア事業について 詳しくはこちら

## 岸和田市認知症ケア(KDC)報告会



認知症支援に取り組む事業所、地 域の方々などからの実践報告と最 前線の情報を共有します。



娘である「私」の視点から認知症の患者を抱えた家 族の内側を描いたドキュメンタリー映画を上映します。 郊市内在住・在勤者

■・時1月21日例午後1時半~4時

場岸和田製鋼マドカホール(荒木町 1 丁目) 冠300人(申込先着順)

申・問12月1日側から電話または QR コードで 福祉政策課へ 423 - 9467



申し込みは こちら

